



特定ケア看護師としての活動とこれから

東京北医療センター 宮下夏奈

はじめに

皆さん、はじめまして。私は、東京北医療センターで特定ケア看護師(NDC)として勤務している宮下夏奈と申します。私が勤務している東京北医療センターは、北区赤羽台の高台に位置し、都会にありながら緑豊かな環境に囲まれた病院です。東京都北区最大の病院として、区内で初めて「地域医療支援病院」の承認を受け、災害拠点病院やCCUネットワーク、周産期連携病院の指定など、地域でも中核的な役割を果たしています。総合診療科、循環器科、周産期科、血液内科等 32 の診療科を持ち、病床数351床(ICU 8 床、HCU12 床、NICU 6 床、無菌室15床、LDR 5 床)の病床を持つ急性期病院です。私は、当院 ICU で 5 年勤務した後、2019 年に特定行為研修を受けさせていただきました。現在は、当院初の特定ケア看護師として、整形外科でお世話になっています。整形外科では、入院患者の把握とマイナートラブルに対する初期対応や医師不在時の代行入力、ナースからの相談役などを主に活動しています。

特定ケア看護師を目指した理由

私が特定ケア看護師を知ったのは、当院の ICU に入職して、4 年が過ぎた頃だったと思います。病棟と ICU が同じ管轄だった体制から、ICU が 1 つの部署として独立し、当時の仲間と ICU を盛り上げていこうと奮闘していました。以前は採用していなかった、新卒も採用するよ

うになり、どのような教育体制を築いていくか、頭を悩ませていました。自分の頭の中では、わかっていてもそれを上手く新人に指導することができず、滞りを感じる日々でした。また、医師が手術などで不在だと、治療が思うように進まなかったり、看護師が日々の観察で感じている思いを医師へ上手く伝えられず、ただ見ているだけになっていないだろうか？というジレンマもあったと思います。医療チームの一員としてこれで良いのだろうか？何かできることはないのだろうか？と日々悩んでいました。そんな時に、診療看護師の筑井菜々子さんが当院に来てくださり、一緒に仕事をさせていただく機会がありました。筑井さんは、膨大な知識で的確に患者をアセスメントし、医師と上手く連携を取りながら、素早く患者に介入していました。医師と同じ目線でアセスメントを行い、医師と連携が取れる筑井さんは医師からの信頼も厚く、筑井さんがいる期間は医師がいない時間帯も看護師は安心して仕事をする事ができていました。さらに、医師から得た治療内容や方針、病態をわかりやすく共有し、アセスメントのポイントなどを病棟スタッフにレクチャーしてくださるなど教育面においても貢献されていました。そんな筑井さんに刺激を受け、自分が持っている資格でも、学習をすれば患者にもスタッフにももっと多くのことで貢献できるのではないかと考え、特定ケア看護師研修に参加することを決めました。



整形外科の楽しい仲間と

活動効果と今後の課題

私は、2021年4月から整形外科の特定ケア看護師として勤務しています。整形外科所属で整形外科の医師のもと、特定行為を実践しています。基本的には、整形病棟にいて、入院患者の把握とマイナートラブルに対する初期対応、医師不在時の代行入力、ナースからの相談対応などを行っています。当院整形外科は、非常に手術が多く医師はとても多忙で、手術日はほとんど病棟にいたることができません。入院患者の経過や検査データのチェックを行い、異常があれば担当医に報告し、タイムリーに治療介入ができるよう従事しています。最近では、担当医の不在時に、担当医からデータのチェックや患者

の観察を依頼され、アセスメント・判断し、事前に指示された対応を代行入力する形で介入させていただくこともあります。そして、医師が病棟にいられない分、なるべく病棟にいるようにし、ナースやコメディカルなど多方面からの相談や報告、患者の訴えに耳を傾けるように心がけています。相談内容が全てマイナートラブルという訳ではありませんが、チームの皆が挙げてくれる報告や相談の中には、重大なトラブルも少なくありません。今までにも、術後の再骨折や絞扼性イレウス、下肢動脈閉鎖、誤嚥性肺炎など多くのマイナートラブルを発見し、主治医へ報告、専門医へ依頼し、適切な治療につなげることもできています。「何かおかしい」を評価・アセスメントし、根拠を持って「おかしい」に変換させ、適切な治療につなげることができたのは、私自身もチームの一員としてやりがいを実感できる出来事となりました。こういった些細な情報を多方面から拾い上げることができるのも特定ケア看護師の特権であり役割であると実感しています。

まだまだ、知識も経験も浅く、1人で対応できることは多くありません。たくさんの方々に支えられながら特定ケア看護師として働かせていただいています。当院初ということもあり、特定ケア看護師の在り方について悩むこともあります。今は1つずつ課題をクリアし、特定ケア看護師の可能性を確立するべく日々精進していきたいです。